

「今月の1枚」



タンナサワフタギ （ハイノキ科） *Symplocos coreana*

枝先に花序を出し白色の花が多数ついている満開のタンナサワフタギです。山道を歩いているとタンナサワフタギを多数見かけましたが、花が咲いているのはこの木だけでした。

タンナサワフタギは、比較的標高が高い山地に出現するハイノキ属の落葉低木です。同じ属で葉が似ているサワフタギとは、鋸歯が鋭く、葉の先端が尾状に尖っている（写真）ことで区別できますが、まぎらわしいものもあります。本種は関東以西の本州、四国、九州に分布し、済州島にも自生しています。タンナ（耽羅）は最初に発見された済州島の古名で、サワフタギは沢を覆って塞ぐように茂ることによります。

（写真，文：加茂皓一、2007年6月23日 高知県津野町天狗高原で撮影）

（NO.157 2007.07.23 掲載）